

宮島幹之助 みやじま けんすけ 傳染病學者、醫學博士。明治五年八月十一日山形縣生れ、昭和十九年十一月十一日歿（八七—一九四四）。明治二十一年東京帝國大學理科大學動物學科卒。大學院、傳染病研究所の病源原蟲學を研究。四十一年ロズルト・コッホ來朝の際、北里榮三郎の助手としてコッホに隨伴。昭和四年慶應義塾大學醫學部教授、十二年北里研究所副所長。國內外の傳染病調査、衛生行政にふる從事。

著書に、『師弟—Teacher and Pupil』（昭和十年四月五日北里研究所）、『洋行の百面相』（昭和十一年四月十日双雅房）、『蝸牛の角』（昭和十二年十月一日京都・人文書院）、『南方經綸と厚生問題』（昭和十八年十一月二十五日京都・人文書院）等の他、譯書に、ヘルムート・ウンガー著『ローズルト・コッホ—偉大なる生涯の物語』（石川録次共譯、再版、昭和十八年十月十八日富山房）がある。

